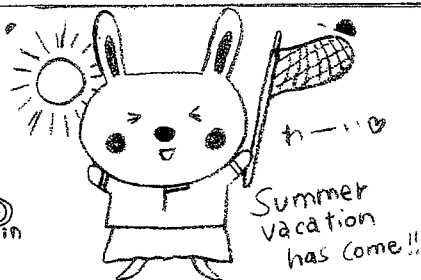




arch-tsushin



神戸大学大学院人間発達環境学研究所 ヒューマンコミュニティ創成研究センター サテライト施設「のびやかスペースあーち」

●●●●●●●●●● 開館時間 10:30~17:00 (金曜は 19:00 まで) ☆日月祝はお休み ●●●●●●●●●●
〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3-6-18 TEL / FAX : 078-805-6090 e-mail:zda@kobe-u.ac.jp または itoa@kobe-u.ac.jp

vol.58

新しいプログラム

“あーち DE よさこい”

おそろいの衣装を着た「颯爽 JAPAN」のお兄さんやお姉さんが、こらぼ あーちで「よさこい」を踊ってくれます。すごい迫力です！みなさんも一緒にいかがですか？

日時：7月30日（金）3時～4時30分
場所：こらぼ あーち



ワケトン
トコトン たちが
来てくれるかも！

おひさまひろば 特別プログラム

“ごみの分別講習会”

平成23年4月より「ごみの分別方法」が大きく変わります。この日は環境局の方が来られてわかりやすく分別のお話をしてくれます。ぜひお誘いあわせのうえ、お越しください。

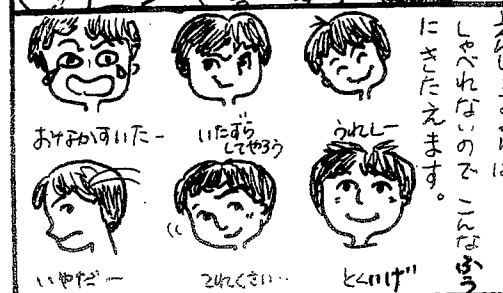
日時：8月31日（火）11:00～
場所：ふらっと あーち

このお話の後、いつものようにみんなで親子ふれあい遊びをします。申込は不要です。



えんじえる君 by Ben

表情筋をきたえる





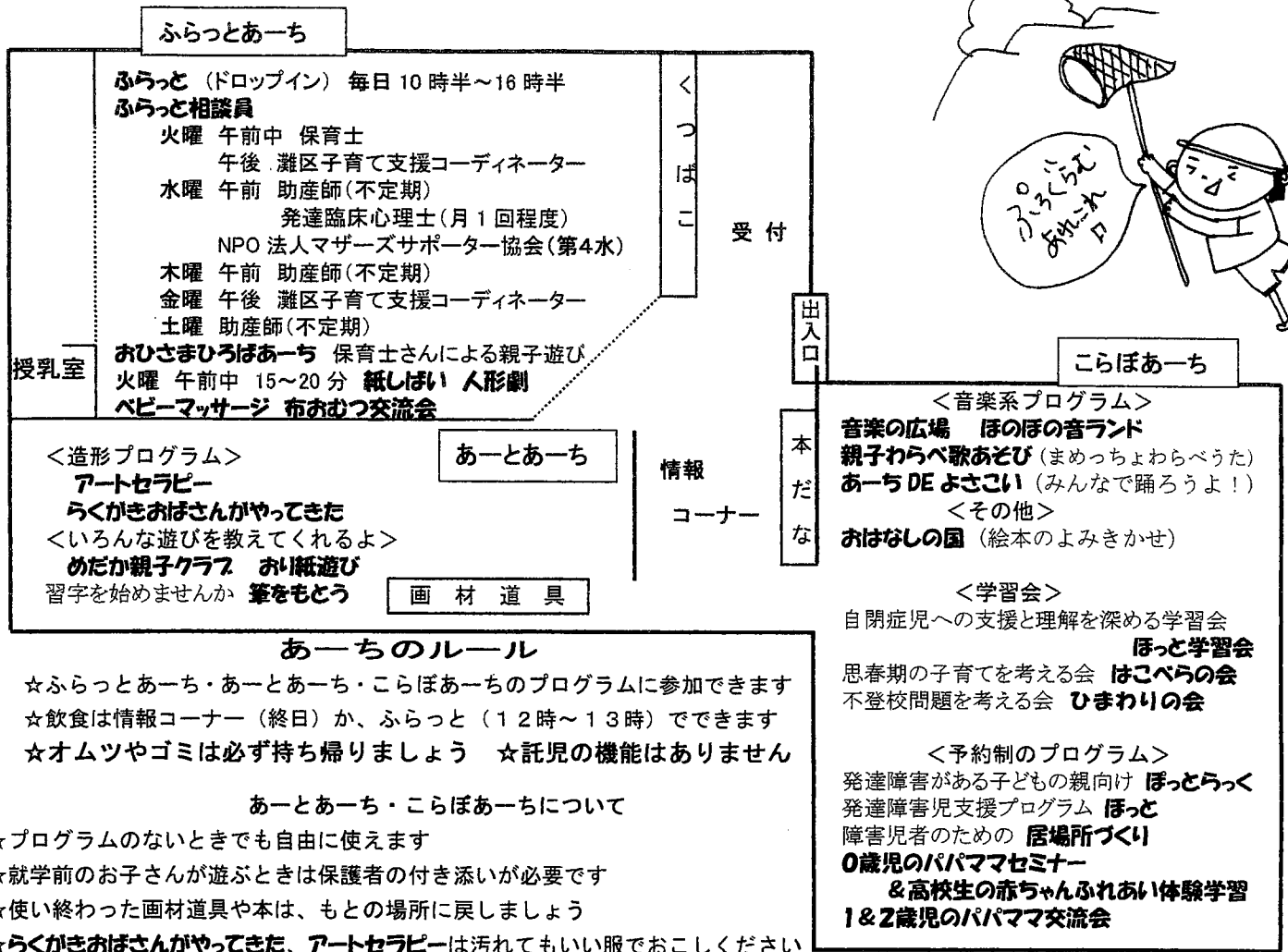
7月予定表

		こらほあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	木			
2	金	居場所づくり 3時～6時		
3	土			
4	日			
5	月			
6	火	ほっと（予約制） 10時30分～		おひさまひろばあーち 午前中
7	水	おひさまスタジオ（予約制）10時45分～		
8	木	ひまわりの会 10時30分～2時30分	筆をもとう 1時～2時30分 めだか親子クラブ 2時30分～	
9	金	居場所づくり 3時～6時（ フोटデコ Photo Deco 3時30分～4時30分 定員制 ）		
10	土	0歳児/パパママセミナー（予約制）10時30分～12時/高校生の赤ちゃんふれあい体験学習 10時30分～12時 1・2歳児のパパママ交流会 1時30分～3時		人形劇 2時～3時
11	日		休館	
12	月			
13	火	ほっと（予約制） 10時30分～		おひさまひろばあーち 午前中
14	水	ほのぼの音ランド 11時～ あーち通信編集会議 1時～ あーち通信連絡協議会 3時～	おりがみあそび 2時30分～	
15	木			ベビーマッサージ（はいはい）11時～
16	金	はこべらの会 10時30分～1時 居場所づくり 3時～6時	アートセラピー 3時～5時	
17	土	ぽっとらっく（予約制）		紙芝居 11時～
18	日		休館	
19	月			
20	火	ほっと（予約制） 10時30分～		おひさまひろばあーち 午前中
21	水	親子わらべ歌あそび11時20分～		
22	木		筆をもとう 1時～2時30分 めだか親子クラブ 2時30分～	
23	金	居場所づくり 3時～6時／らくがきおばさんがやってきた 3時～5時		布おむつ交流会 11時～
24	土	音楽の広場 1時30分～3時 おはなしの国 3時～		
25	日		休館	
26	月			
27	火	ほっと（予約制） 10時30分～		おひさまひろばあーち 午前中
28	水			おしゃべりほっとタイム 11時～
29	木			ベビーマッサージ（ねんね）11時～
30	金	居場所づくり 3時～6時／あーちDEよさこい 3時～4時30分		
31	土			

予約制は事前に確認してから
参加してね



- ・太字のプログラムは今月の特別プログラムです。
- ・どのプログラムも参加（見学）することができます
- ・プログラムへの参加年齢の制限はありません。
- ・詳しくは受付までお問合せください。



みつけよう かぐく

『じゅうりょく、なぞだ!』

フランクリン M. グランティ 作
 エドワード ミラー 絵
 やまもと いけこ 訳
 福音館書店

「え!!? 今頃 科学絵本 出てきたの、もう!」

子どもも見やすい絵で色もやさしい。

質問されると うまく答えられない科学なので

子どもが幼稚園の頃に 出逢いたかった。本当に欲しかった!

内容がわからなくても「へーおじい」とか 感心したり

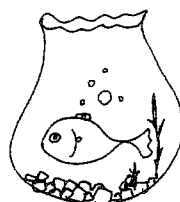
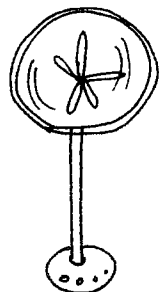
興味をもち 小さな科学の芽がのびていたかな?

図書館で借りた時には見子は小 4。「どうかな?」と

置いておくと静かに読んでいました。

源 家

Welcome to the
 絵本のせかいの
 ようこそ
 Picture book's world.



それぞれの子育て事情（中国編の続き）



先月に続いて留学生である院生の盛敏（セイ ビン）さんが、中国と日本の子育て事情の違いを紹介し、日本の女性にエールを送ってくれています。

私が「あーち」でボランティアをおこなうようになって気づいたことは、「あーち」が開館している間、どのような時間帯でも、若いお母さんと子どもが来館しているということです。この理由には、日本では女性が子どもを産んだ後、長期の育児休暇を取得したり、または退職したりして、家庭に多くの時間が多いという事情があるからだと思います。

中国ではこのような光景を見ることがあまりありません。毛沢東元主席が1968年に「天の半分を女性が支える」と男女平等のスローガンを提唱した効果があるのかもしれませんが、国会議員を別にして、女性労働者、女性研究者、女性管理職、女性企業家などが、あらゆる分野で男性と競争しています。子どもを産んでも、比較的早い時期から（約3～6か月）復職するので、日中は子どもを保育園や両親に預けたり、あるいはベビーシッターに子育てを頼んだりします。もちろん、子どもを預けることで経済的な負担が増えますが、子どものためには仕方がないと思う中国人が多いようです。



それに対して、日本人からは「子どもを預けることで経済的負担が増える（保育園の料金も高い）のであれば、一体何のために働くのか」という話をよく耳にします。私自身の考えですが、働くことのひとつの意味は『女性の価値を実現するため』もあるのではないかと考えています。仕事をしなければそれぞれの女性が持つ能力を発揮する機会を失ってしまい、いざ社会に復帰したい時には就職が難しい状態になると思います。また、保育園は子どもが成長するためにあるもので、預けることへの抵抗を感じる必要はないと思います。日本では子どもを産んだ後、働きたくても再就職が困難であるとか、保育所の整備が不十分であるということを知りました。このことを考えると、出産後も働きたいと思っている女性が、働けるような日本社会の仕組みづくりが大切ではないかと思っています。

『シマウマだけドウサギ』

本信 公久 作

くもん出版 1988年

絵本のせかいへようこそ



??

しまうま
うさぎ

シマウマのもよう、よくみると、だれかがいるよ？
タンポポのわたげ、しろいとりになって、どこまでもとんでいけ！
シカのつのに、もみじがゆれていたら、すてきだね。

1つの絵なのに2つのものが見える、不思議な“かくし絵”の絵本です。どんなものが隠れているか、大人でも少し考えてしまうかもしれません。ぜひ、親子でわくわくしながらページをめくって下さい！

続編の『ヒョウなのにテントウムシ』もどうぞ。（中谷）